

平成 30 年度 朝日町教育委員会
事務事業点検・評価報告書

(平成 29 年度分)

平成 30 年 8 月

朝日町教育委員会

目 次

I. 朝日町教育委員会事務事業の点検及び評価について……………	1
1. 制度の概要及び目的……………	1
2. 点検及び評価の対象事業……………	1
3. 点検及び評価の方法……………	1
4. 学識経験者の知見の活用……………	1
II. 平成 29 年度教育委員会活動状況……………	2
1. 教育委員の選任状況……………	2
2. 教育委員会会議開催状況……………	2
3. 教育委員学校訪問……………	5
4. 各種会議、大会、研修会等への参加……………	6
III. 外部評価委員の意見……………	8
1. 総括……………	8
2. 教育委員会の活動について……………	8
3. 事務事業の点検・評価について……………	8
4. 今後の事務事業の企画運営にあたって……………	10
IV. 点検及び評価対象事業一覧……………	11
V. 事務事業点検・評価調書……………	12
整理番号 1 ～ 37	

I. 朝日町教育委員会事務事業の点検及び評価について

1. 制度の概要及び目的

平成19年6月、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（平成20年4月1日施行）」の一部改正以降、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について、自ら点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表しなければならないことになりました。

また、この点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされています。

これを受け町教育委員会では、効率的な教育行政の推進に資するとともに、町民に対する説明責任を果たすため、平成29年度に行った事務事業について、3名の外部評価委員（朝日町教育事務評価委員）の意見をいただきながら検証し、その結果を報告書としてまとめることとしています。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2. 点検及び評価の対象事業

平成29年度に実施した朝日町教育委員会所管37事務事業のうち、全ての事務事業を対象に点検及び評価を行いました。このため当該年度分の対象率は100%となっています。また、本年度は第2次朝日町教育振興計画の策定に合わせて関連事業を選定して、より具体的な意見を外部評価委員からいただきました。

3. 点検及び評価の方法

各事務事業については、「必要性」及び「効率性・有効性」の観点で所管課の自己点検及び評価を行い、全ての事務事業について調書を作成しました。この結果に対して、より客観性を確保するために、外部評価委員より意見をいただきました。

4. 学識経験者の知見の活用

3名の学識経験者を外部評価委員として「朝日町教育事務評価委員」に委嘱し、点検及び評価の内容についてご意見をいただき、報告書に反映しました。

朝日町教育事務評価委員

氏名	役職名等
真木 吉雄	元 山形大学大学院教育実践研究科 教授
熊谷 昌彦	有識者
高橋 さだ子	有識者

II. 平成 29 年度 教育委員会活動状況

1. 教育委員の選任状況

職	氏 名	住 所	備 考
教 育 長	小 林 道 和	朝日町大字四ノ沢 913 番地	
委 員	児 珠 孝 童	朝日町大字立木 183 番地	職務代理者
委 員	五十嵐 義 一	朝日町大字玉ノ井乙 79 番地	
委 員	井 上 幸 弘	朝日町大字三中甲 650 番地 1	
委 員	村 山 千 鶴	朝日町大字宮宿 843 番地 4	

2. 教育委員会会議開催状況

開催日	議案並びに主な報告・協議案件	
平成 29 年 4 月 25 日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 区域外就学の許可について ② 平成 29 年度小中学校職員及び事務局職員事務分担について ③ 平成 29 年度朝日町校長会活動方針及び研修課題等について ④ 平成 29 年度朝日町教育研究所運営方針について ⑤ 平成 29 年度朝日町成人式について ⑥ 第 62 回山形県縦断駅伝競走大会について ⑦ 平成 29 年度中学生海外派遣事業の応募状況について
	附議	議第 6 号 平成 29 年度朝日町教育支援委員会委員の委嘱について 議第 7 号 平成 29 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について 議第 8 号 朝日町立中央公民館運営審議会委員(兼)朝日町立中部公民館 運営審議会委員及び朝日町立西部公民館運営審議会委員並 びに朝日町立北部公民館運営審議会委員の委嘱について
	協議	1. 学校訪問、あさひ保育園訪問について 2. 教育委員研修会について 3. 小学校教科用図書選定に係る西村山地区教科用図書採択協議会への委 任及び委員の指名について 4. 平成 29 年朝日町教育委員会 5 月定例会の日程について
平成 29 年 5 月 25 日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 平成 29 年度 6 月補正予算の概要について ② 平成 29 年度西村山地区中学校駅伝競走大会結果について ③ 平成 29 年度朝日町小学校陸上競技記録会の結果について ④ 平成 29 年度海の子山の子交流事業(海の集い)について ⑤ 平成 29 年度教育委員会関係工事等の予定と状況について
	附議	議第 9 号 平成 29 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について
	協議	1. スクールバスの運行について 2. 平成 29 年朝日町教育委員会 6 月定例会の日程について

開催日	議案並びに主な報告・協議案件	
平成 29 年 5 月 25 日 総合教育会議	協議	1. 第 2 次朝日町教育振興計画について 2. 意見交換
平成 29 年 6 月 23 日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の事項) 2. 報告事項 ① 平成 29 年度 N R T 検査結果について ② 平成 29 年度西村山中学校総合体育大会の結果について ③ 平成 29 年度朝日中学校 2 年生職場体験について ④ 平成 29 年度中学生海外派遣事業の進捗状況について ⑤ 第 20 回ひめさゆり俳句大会の実施について ⑥ 工事等発注状況について ⑦ 町民プールのオープンについて
	附議	議第 10 号 平成 29 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について
	協議	1. 平成 29 年度西村山市町教育委員会連絡協議会理事の選出について 2. 教育委員研修会について 3. 平成 29 年朝日町教育委員会 7 月定例会の日程について
平成 29 年 7 月 21 日 定例会	報告	1. 教育長委任事項(日程的な事項・当面の事項) 2. 報告事項 ① 平成 29 年度朝日町小学校水泳競技記録会の結果について ② 平成 29 年度朝日町教育研究所夏季研修会について ③ 平成 29 年度教育支援委員会について ④ 平成 29 年度小中学校運動会の日程について ⑤ 寄付採納について
	附議	議第 11 号 平成 30 年度使用教科用図書採択について
	協議	1. 平成 29 年朝日町教育委員会 8 月定例会の日程について
平成 29 年 8 月 25 日 定例会	報告	1. 教育長委任事項 (日程的な事項・当面の事項) 2. 報告事項 ① 平成 29 年度 9 月補正予算の概要について ② ジュニア駅伝、クロスカントリー大会の結果について ③ 中学校総合体育大会 (県・東北・全国大会) のについて ④ 工事等発注状況について
	附議	議第 12 号 平成 29 年度朝日町教育委員会事務事業点検・評価 (平成 28 年度分) について
	協議	1. 平成 29 年度朝日町立小中学校運動会等への出席について 2. 平成 29 年朝日町教育委員会 9 月定例会の日程について

開催日	議案並びに主な報告・協議案件	
平成 29 年 9 月 22 日 定例会	報告	1. 教育長委任事項(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 平成 29 年度全国学力・学習状況調査及び山形県学力等調査について ② 平成 29 年度第 59 回県こども絵画展及び第 72 回県総合美術展(県美展)入賞・入選について ③ 平成 29 年朝日町青少年健全育成町民大会・「あさひ教育の日」記念講演会について ④ 第 34 回アップル町民駅伝競走大会について
平成 29 年 9 月 22 日 定例会	協議	1. 平成 30 年度実施計画について 2. 平成 29 年朝日町教育委員会 10 月定例会の日程について
平成 29 年 9 月 22 日 総合教育会議	協議	1. 平成 30 年度実施計画について 2. 町議会意見書について 3. 意見交換
平成 29 年 10 月 24 日 定例会	報告	1. 教育長委任事項の報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 区域外就学の許可について ② 平成 29 年度西村山中学校新人総合体育大会の結果について ③ 第 34 回アップル町民駅伝競走大会の結果について ④ 第 20 回ひめさゆり俳句大会入選結果について ⑤ 第 53 回朝日町芸術文化祭について
	協議	1. 平成 29 年朝日町教育委員会 11 月定例会の日程について
定例会 平成 29 年 11 月 22 日 定例会	報告	1. 教育長委任事項の報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 朝日町 P T A 連合会からの要望書について ② 朝日町校長会からの要望書について ③ 第 64 回西村山地区駅伝競走大会の結果について ④ 第 34 回山形県女子駅伝競走大会の結果について ⑤ 第 38 回女性まつりの開催について
	協議	1. 平成 29 年朝日町教育委員会 12 月定例会の日程について
平成 29 年 12 月 21 日 定例会	附議	議第 13 号 平成 29 年度朝日町教育委員会委員の座席の指定について
	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 朝日町 P T A 連合会からの要望書への回答について ② 平成 29 年度朝日町小学校スキー記録会について ③ 平成 30 年度予算要求概要について ④ 第 20 回ひめさゆり俳句大会の作品集について
	協議	1. 第 2 次朝日町教育振興計画(案)について 2. 平成 30 年朝日町教育委員会 1 月定例会の日程について

開催日	議案並びに主な報告・協議案件	
平成 30 年 1 月 26 日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 平成 30 年度特別支援学級への新規入級について ② 第 30 回朝日町生涯学習推進大会について
	協議	1. いじめ防止等対策の推進に関する条例(案)について 2. 平成 30 年朝日町教育委員会 2 月定例会の日程について
平成 30 年 2 月 15 日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 平成 30 年度朝日町一般会計当初予算について ② 平成 29 年度朝日町体育協会表彰受賞者について ③ 平成 29 年度朝日町小学校スキー記録会結果について ④ 平成 29 年度子どもの芸術文化活動に係る朝日町教育委員会表彰者について
	附議	議第 1 号 第 2 次朝日町教育振興計画の決定について 議第 2 号 朝日町学校運営協議会設置規則の制定について 議第 3 号 朝日町スポーツ振興基金設置条例の一部を改正する条例の制定について 議第 4 号 朝日町スポーツ振興基金設置条例施行規則の一部改正について
	協議	1. 朝日町立小中学校の平成 29 年度卒業式及び平成 30 年度入学式について 2. 平成 30 年朝日町教育委員会 3 月臨時会の日程について 3. 平成 30 年朝日町教育委員会 3 月定例会の日程について
平成 30 年 2 月 15 日 総合教育会議	協議	1. 平成 29 年度の朝日町の教育の推進について(総括) 2. 第 2 次朝日町教育振興計画について 3. これからの朝日町の教育の推進について 4. 意見交換
平成 30 年 3 月 8 日 臨時会	附議	議第 5 号 平成 30 年度朝日町立小中学校教職員の人事異動内申について
平成 30 年 3 月 22 日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 区域外就学の許可について ② 第 2 次朝日町教育振興計画の配布について ③ 平成 30 年度学校教職員の異動について ④ 平成 29 年度朝日中学校卒業生の進路先について ⑤ 平成 30 年度学級編成について ⑥ 中学生海外派遣事業の募集について
	附議	議第 6 号 平成 30 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について 議第 7 号 平成 30 年度朝日町立小中学校の校医等の委嘱について
	協議	1. 平成 30 年度朝日町学校教育・社会教育の重点について 2. 平成 30 年朝日町教育委員会 4 月定例会の日程について

3. 教育委員学校訪問

年 月 日	実 施 校	内 容
平成 29 年 5 月 23 日	朝日町立大谷小学校	①学校経営概要説明、懇談 ②授業参観並びに校舎等巡回 ③教職員・教育委員紹介 ④学校経営へのアドバイス
平成 29 年 6 月 1 日	朝日町立宮宿小学校	
平成 29 年 6 月 8 日	朝日町立西五百川小学校	
平成 29 年 6 月 9 日	朝日町立朝日中学校	

※ 上記以外に町立学校の「授業研究会（24回）」に教育委員の参加を可能とし、また教育長及び事務局職員も参加または助言者として参画した。

4. 各種会議、大会、研修会等への参加

年 月 日	会議、大会等名	場 所	出 席 者
平成 29 年 4 月 1 日	あさひ保育園入園式	あさひ保育園	井上委員
平成 29 年 4 月 3 日	町辞令交付式	開発センター	教育長
平成 29 年 4 月 3 日	朝日町教職員辞令交付式	創遊館	全員
平成 29 年 4 月 7 日	各小中学校入学式	各小中学校	全員
平成 29 年 4 月 29 日	朝日町成人式	創遊館	全員
平成 29 年 5 月 16 日	小学校陸上競技記録会	西小グラウンド	全員
平成 29 年 5 月 19 日	校長・教頭合同研修会	創遊館	全員
平成 29 年 5 月 25 日	朝日町教育研究所全体会	創遊館	教育長
平成 29 年 5 月 29 日	第 1 回西村山教科書検討協議会	寒河江市	五十嵐委員
平成 29 年 6 月 3 日	西五百川小学校相撲大会	西小相撲場	教育長
平成 29 年 6 月 21 日	保育園参観（保小中連携事業）	あさひ保育園	全員
平成 29 年 6 月 27 日	緑の少年団結団式	秋葉山	教育長
平成 29 年 7 月 4 日	小学校水泳競技記録会	町民プール	全員
平成 29 年 7 月 6 日	西村山市町教育委員会連絡協議会	河北町	全員
平成 29 年 7 月 10 日	第 2 回西村山教科書検討協議会	寒河江市	五十嵐委員
平成 29 年 8 月 4 日 ～5 日	山形県市町村教育委員大会 朝日町教育委員研修	村山市、北村山地内	全員
平成 29 年 9 月 2 日	西五百川小学校運動会	西小グラウンド	教育長 児珠委員、井上委員
平成 29 年 9 月 3 日	朝日中学校体育祭	朝日中	全員

年 月 日	会議、大会等名	場 所	出 席 者
平成 29 年 9 月 9 日	大谷小学校運動会	大谷小グラウンド	教育長 五十嵐委員
平成 29 年 9 月 10 日	宮宿小学校運動会	宮小グラウンド	教育長、村山委員
平成 29 年 9 月 29 日	村山地区社会教育推進協議会研修会	創遊館	全員
平成 29 年 10 月 8 日	第 34 回アップル駅伝競走大会	町内	全員
平成 29 年 10 月 18 日	宮宿小学校公開授業研究会	宮小	全員
平成 29 年 10 月 28 日	朝日中学校文化祭	朝日中	全員
平成 29 年 11 月 3 日	朝日町芸術文化祭	創遊館他	教育長
平成 29 年 11 月 7 日	朝日町自治功労者等表彰式	創遊館	教育長
平成 29 年 11 月 27 日	青少年育成町民大会 あさひ教育の日講演会	創遊館	全員
平成 29 年 12 月 16 日	朝日自然観スキー場開き	自然観スキー場	教育長
平成 29 年 12 月 26 日	朝日中学校総合学習発表会	朝日中	教育長
平成 30 年 1 月 4 日	町辞令交付式	開発センター	教育長
平成 30 年 1 月 31 日	小学校スキー記録会	自然観スキー場	全員
平成 30 年 2 月 8 日	町長学校訪問	宮小、朝日中	教育長
平成 30 年 2 月 9 日	町長学校訪問	西小	教育長
平成 30 年 2 月 14 日	町長学校訪問	大谷小	教育長
平成 30 年 2 月 25 日	生涯学習推進大会	創遊館	全員
平成 30 年 3 月 16 日	朝日中学校卒業式	朝日中学校	全員
平成 30 年 3 月 18 日	各小学校卒業式	各小学校	全員
平成 30 年 3 月 30 日	町退職者辞令交付式	開発センター	教育長

Ⅲ. 外部評価委員の意見

1. 総括

この事務事業点検・評価は、教育事務に関する管理や執行の状況を議会並びに町民に報告・公表することで開かれた教育委員会を目指すことを目的としている。そのための手段として、本報告書では独自の工夫がなされているといえる。具体的には、調書の「3. 事業の実施状況」では、実績値が細部にわたって示されていること、「5. 成果と課題」では、成果を○、課題を△で表記しよりわかりやすくなっていること、「6. 事業の方向性」では、課題を中心に次年度の対応策が述べられていることや現年度から変更した事業内容を加筆していることなどである。こうした工夫と配慮のこれまでの積み重ねによって、より簡潔で明瞭な報告書になってきている。

本作業は、教育委員会事務局員が前年度の事務事業を自己評価し、その妥当性を外部者が点検評価することが本旨である。加えて、次年度以降の事務事業の計画立案と事業執行に発展性をもって供させるようにすることもねらいのひとつとなるべきと考える。しかし、本作業の実施時期が8月であることから、評価事項を翌年度の事業に即反映させることができないという課題がある。こうした接続のズレを少なくするための幾つかの手立てを講じることによって、発展性をもった事務事業となって次年度につながっていくようになるであろう。

2. 教育委員会の活動について

総合教育会議が、協議内容、開催回数、開催時期ともに定着化しており、予算執行者の首長部局と独立行政委員会としての教育委員会の連携がより緊密化しているものと思われる。第2次朝日町教育振興計画の策定に合わせて、今後、町行政が一体となって進捗していくことが大いに期待される。

3. 事務事業の点検・評価について

(1) 全体

概ね適切な評価がなされているが、さらに効果的な評価となるためにも課題点に対する要因分析を的確に行うことが求められる。分析結果を行うことによって、より明確な形で事業の方向性を示すことができるようになってくる。分析に当たっては、町内部に留まることなく国や県をはじめ他市町村の状況を参考により広い視野に立つて行うことが必要である。

また、第2次教育振興計画の基本方針に基づき、課題解決に向けた主要施策が具体的に実施推進されることが最も大切ではないかと考える。

(2) 学校教育関係

① 教育研究所費について、町コミュニティスクール構想の導入のため、教育講演会の開催など理解を深める手立てを講じながら準備を進めたことは、順当な対応といえる。学校運営協議会は保護者や地域民の参加によって行われるものであることから、今後、教職員のみならず一般町民に広げた啓発活動により積極的に取り組むことが望まれる。

また、教職員の減少に伴う教職員一人一人の負担増を考え、教育研究所の組織の見直しと再編、会議の精選が進んでいることは大変良いことと考える。学校が抱える今日的教育課題に的を絞って研修や研究を推進してほしい。

② 保小中連携については、他市町よりも連携した活動が推進されている。今後、保育園・小学校・中学校、そして町全体で、どのような「あさひっ子」に育てていくべきなのか、また、どのような課題があるのかを共通理解しながら進めていくことが重要になってくる。

③ 小・中学校教育振興費について、学習生活指導員、読書活動推進員、地域活動推進員と、多種にわたる分野に人的配置を行ったことで、よりきめの細かな対応が可能になってきた。特に、地域活動推進員はコミュニティスクールの原動力となるものであり、複数人配置されたことは学校を活性化する意味でも有意義なものである。

(3) 生涯学習関係

① 文化財保護費について、保護活動の推進は大切であり、町の宝物を子ども達へ伝えるために、総合学習等で地域活動推進員が学校との架け橋となって活動を進めていくことが必要と考える。また、各自治公民館や区長会等でも周知を図っていくことも、町民みんなの宝としての認識が広がり文化財保護活動にもつながっていくと思われる。

② 保健体育総務費については、健康の維持や増進のために様々なスポーツが行われているが、始めるきっかけとして総合型スポーツクラブは有効と考える。昨年度のニーズ把握により二つの教室（アロマリラックスヨガと北部公民館での生き生き元気すっきり体操教室）が今年度開設したことは、町民の選択肢が増え、生涯スポーツにつながるものである。

4. 今後の事務事業の企画運営にあたって

- (1) 奨学金貸与事業費については、奨学金の返還に滞納者があることは、決算面で思わしくないことといえる。申請者に関する審査のあり方なども含め、滞納者が生じる要因を分析するとともに、滞りなく納入されるよう早期に手立てを講じられることを望む。
- (2) 小・中学校整備事業費については、近年の気候の変化に伴う普通教室へのエアコン設置は、全国的な流れであり本町にとっても例外とはいえない。維持費を含め設置に係る経費の予算計上を行うなど、早期の対応が求められる。
- (3) 外国語活動推進事業費については、国際交流事業として、アメリカン BBQ とハロウィンの2つの事業が行われている。ALT の小・中学校での勤務状況を踏まえながら、先進他市町の活動例等も参考に、多くの小・中学生の主体的な参加が見込まれるアイデアに富んだ事業の充実と拡大が望まれる。
- (4) 中央・西部・北部公民館事業費については、いずれも参加者数によって実績を示しているが、人口減に伴い参加者も減少することは容易に想定されることである。そのため推移の比較については、実数ではなく人口に対する割合などの比率で行うほうが客観的な見方ができるようになる。また、北部公民館の女性教室のように参加者が少人数であっても、朝日町としての独自性のある事業が見られることから、参加者数にこだわらないオリジナリティのあるものを継続させるという側面も考慮すべきであろう。
- (5) 協働のまちづくりプロジェクト費については、「高校生のための次世代リーダー養成塾」への参加希望者がなかったことは、誠に残念である。今後の対応に苦慮することも予想されるため、朝日町の高校生が参加しやすい町独自の新たな事業を企画するなど、高校生の活躍の場を工夫していくことが望まれる。
- (6) 保健体育総務費については、ミズノと連携した事業の推進は他の市町にない大変素晴らしい事業である。今後は、増加している中高年層にとっては、競技やスポーツよりも『健康な体づくり』の事業を積極的に推進することを望む。
また、教育委員会だけでなく健康福祉課や町全体で事業を推進して、みんなが気軽に参加し楽しみながら健康な体づくりができる事業の推進を望む。

IV. 点検及び評価対象事業一覧

事務事業名	担当課・係	整理番号
教育委員会費	教育文化課学校教育係	1
教育委員会事務局総務費	教育文化課学校教育係	2
教育委員会奨学金貸与事業費	教育文化課学校教育係	3
教育研究所費	教育文化課学校教育係	4
廃校管理費	教育文化課学校教育係	5
小学校管理費	教育文化課学校教育係	6
中学校管理費	教育文化課学校教育係	7
小学校保健衛生費	教育文化課学校教育係	8
中学校保健衛生費	教育文化課学校教育係	9
小学校遠距離通学費	教育文化課学校教育係	10
中学校スクールバス運行費	教育文化課学校教育係	11
小学校整備事業費	教育文化課学校教育係	12
中学校整備事業費	教育文化課学校教育係	13
小学校教育振興費	教育文化課学校教育係	14
中学校教育振興費	教育文化課学校教育係	15
外国語活動推進事業費	教育文化課学校教育係	16
小学校給食費	教育文化課学校教育係	17
中学校給食費	教育文化課学校教育係	18
社会教育総務費	教育文化課生涯学習係	19
文化財保護費	教育文化課生涯学習係	21
町史編さん費	教育文化課生涯学習係	21
青少年健全育成推進事業費	教育文化課生涯学習係	22
自治公民館整備事業費	教育文化課生涯学習係	23
中央公民館事業費	教育文化課生涯学習係	24
西部公民館事業費	教育文化課西部公民館	25
北部公民館事業費	教育文化課北部公民館	26
創遊館管理費	教育文化課生涯学習係	27
西部公民館管理費	教育文化課西部公民館	28
北部公民館管理費	教育文化課北部公民館	29
放課後子どもプラン事業費	教育文化課生涯学習係	30
協働のまちづくり推進プロジェクト費	教育文化課生涯学習係	31
図書館費	教育文化課生涯学習係	32
文化振興費	教育文化課生涯学習係	33
保健体育総務費	教育文化課生涯学習係	34
体育施設管理費	教育文化課生涯学習係	35
スポーツ振興基金運営費	教育文化課生涯学習係	36
秋葉山利活用計画作成費	教育文化課北部公民館	37

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	教育委員会費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	01	教育委員会費

2. 事業の目的

事業の目的	教育委員会定例会を原則月1回開催し、学校教育、社会教育の課題を協議、調整、意思統一を図る。学校訪問を通して、常に教育の現場を把握し適切な指導助言を行う。
-------	--

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員 5人 ・定例教育委員会12回開催、臨時会1回開催、附議事件13件 ・総合教育会議3回開催 ・西村山市町教委連絡協議会総会・研修会（河北町）7/6 ・山形県市町村教育委員大会（村山市）8/4 ・教育委員視察研修（北村山地区）8/4～5 ・各校学校訪問 西小6/8、宮宿小6/1、大谷小5/23、朝日中6/9 ・各種事業への参加（教職員辞令交付式、入学式、小体連陸上・水泳・スキー記録会、小学校運動会、生涯学習大会、卒業式 他）

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	1,423,000	決算額	1,255,976	差引額	167,024
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○先進地視察や他教育委員会との交流などにより、当面する様々な課題に関する情報共有と認識を新たにすることができた。また、定例会などにおいて、町の実情に即した課題を協議題として設定することにより、より充実した会議にすることができた。</p> <p>○総合教育会議を3回開催し、町長と教育委員会との情報共有を図ることができた。</p> <p>○教育研究所の事業と連携しながら学校を訪問し、学校の現状把握と情報共有ができた。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員の更なる資質向上のため、定例会等を利用して町独自研修を継続して実施するとともに、今後も時宜を得たテーマを考えながら議論が深まるよう工夫していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	教育委員会事務局費
-------	-----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	02	事務局費

2. 事業の目的

事業の目的	適切な学校運営に必要な各種事務を行う。 第五次朝日町総合発展計画及び朝日町教育振興計画に基づいた事務の執行を行う。
-------	--

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・教育事務事業点検・評価（外部評価委員3人） 評価委員会2回開催、9月一般公開 ・第20回小中学生ひめさゆり俳句大会（441人、973句） ・平成30年度入学児童（対象者42人）を対象に就学時健診（10/4）を実施 内科健診、眼科、耳鼻科、歯科、聴力、視力、知能検査 ・教育支援委員会を3回開催 ・県費教職員健康診断（全員受診） ・生活キャンペーン・・・あさひ教育の日関連事業で実施「ポスターの配布」 ・スクールガードリーダー1人を配置し、パトロールを実施。（年間45日） ・臨時職員（事務補助）を1人配置 ・第2次朝日町教育振興計画の策定
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	7,156,000	決算額	6,114,791	差引額	1,041,209
-----	-----------	-----	-----------	-----	-----------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○朝日町教育振興計画が単なる計画にならないように、その実施計画の作成と目標値の管理を行っている。</p> <p>○第2次朝日町教育振興計画の策定において、諸課題に対する対策案を協議し、具体的な施策等を提示することができた。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・目標値の管理は施策の大きな目安となることから、継続して行い関係機関に周知する。 ・就学時健診日程は1日とし、学校医の検診時間や児童の移動の時間を考慮した体制づくりを行う。 ・いじめ防止対策の基本方針の策定を行ったので、条例化に向けて検討を行う。 ・教職員の事務内容の把握等を行い、校務支援ソフト等の導入を検討していく。 ・第2次朝日町教育振興計画に基づいた目標値の管理を行っていく。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	奨学金貸与事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	02	事務局費

2. 事業の目的

事業の目的	高等学校、高等専門学校、短期大学、大学、専修学校に修学する者のうち学費の支弁が困難と認められる者を支援するため、その修学に必要な資金を貸与する。
-------	--

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・お知らせ板による周知 (2月) ・奨学金貸与申請者の審査会 6/12 (新規貸与者4人) ・貸与者数 17人 H29 貸与額 6,600,000円 ・返還者数 65人 H29 返還請求金額 12,243,200円 ・滞納者数 5人 541,000円 ・年度末基金残高 101,426,254円 うち 現金 27,625,204円 貸付金 73,801,050円
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	73,000	決算額	67,041	差引額	5,959
-----	--------	-----	--------	-----	-------

5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○貸与、返還業務については、ほぼ計画どおり処理できている。</p> <p>○返還請求に対して、返還金が滞りつつある貸与者が数名いるが、それ以外は返還計画を立て計画どおり返還できている。</p> <p>○平成28年度に導入した奨学金システムを活用することで効率的な管理ができている。</p> <p>△滞納分納入に向けた取り組みが必要となっている。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・返還方法については、引き続き返還計画を提出してもらい無理のない返還となるよう努めていく。(月賦払い、半年賦払い、年賦払い) ・情報の管理については、引き続き、個人情報の漏えいなどが生じないよう十分なセキュリティ管理に留意していく。 ・滞納が続く場合には、来庁依頼の通知及び自宅等への訪問を実施し返還請求を行う。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	教育研究所費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	03	教育研究所費

2. 事業の目的

事業の目的	教職員の資質向上を図る。
-------	--------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の各部会における研修、研究、全体研修 課題研究部会（郷土学習部会 23 人、特別支援研究部会 19 人、情報教育部会 24 人）を 2 回開催 校務研究部会（養護教諭部会 5 人 3 回開催、事務職員部会 5 人 4 回開催） 学力向上委員会 9 人 2 回開催 子育て生徒指導部会 22 人 2 回開催 英語活動推進部会 6 人 2 回開催 読書活動推進委員会 9 人 2 回開催 保小中連携推進部会 17 人 2 回開催 ICT 教育推進委員会 8 人 2 回開催 教育講演会 講師：高橋 興 氏「コミュニティスクール導入の意義と実践上の課題」 町めぐり 赴任 1・2 年目の教職員 7/27 参加者 18 人（中・西部地区） ・朝日町教育委員会指定研究校 宮宿小学校 2 年次 負担金 15 万円 ・NRT 検査、知能検査（4 月）、CRT 検査（1 月）、Q-U アンケートを公費負担で実施。 ・教育研究所所報（第 20 号）を発刊（事業の経過を掲載）
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	1,549,000	決算額	1,496,021	差引額	52,979
-----	-----------	-----	-----------	-----	--------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○教職員の資質向上に資するための研究機関としての意義は大きいものがある。学力向上に関して、学力検査（NRT）や全国学力・学習状況調査の課題共有と今後の取組など、具体的な数値をもとにしながら指導改善に取り組むことができた。また、学社連携を担う子育て生徒指導部会も他市町にはない取り組みであり、今後も継続していくことが重要である。</p> <p>○学力向上委員会の中で、授業力の向上のために、教職員の研修、学校研究についての情報交換ができています。また、各校の取り組みについて情報交換・共有し、小中連携を意識して今後も継続していくことが大事である。</p> <p>○他市町にはない子育て生徒指導部会では、『育てよう生きる力』～地域との関わりを広げよう～の推進をテーマに、学校・PTA・保育園・公民館等での活動などを情報交換することができた。「あさひ教育の日」の連携事業として生活キャンペーンのポスターを配布し広く周知できた。</p> <p>○ICT 教育推進部会の中で ICT 機器の活用促進を話し合い、各校でデジタル教科書や大型テレビ等の活用が推進された。</p> <p>△喫緊の課題への対応のため部会・委員会が増加し、会議等が増え学校の負担が大きくなっている。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上委員会各校の学力向上対策が話し合われ、学校研究等、授業改善についての研修・情報交換を行い、担任力の向上にむけて今後も取り組んでいく。（平成 30 年度は 2 回開催予定） ・学社連携を担う子育て生徒指導部会も他市町にはない取り組みであり今後も継続していく。また、「あさひ教育の日」の活動と連動させるため、テーマの見直しを検討していく。 ・第 2 次朝日町教育振興計画に合わせ、教育研究所の組織の改編と会議の精選を図っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	廃校管理費
-------	-------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	旧小学校施設を利用する町民の利便性確保のため、日常の維持管理を行う。
-------	------------------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・廃校（旧立木小、旧水本小、旧上郷小、旧大沼分校）の管理 維持費として、電気料 1,523,141 円、水道料 119,047 円 <p>【現在の使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 旧立木小：立木研修センターとして青少年活動やスポーツ少年団等の町民や各種団体が利用 年間を通して、4人の芸術家がアトリエとして、制作活動のため使用 旧水本小：校舎は使用なし 体育館及びグラウンドは、地域のレクリエーションや菜の花プロジェクト等で年数回程度利用 旧上郷小：校舎は使用なし 体育館及びグラウンドは、地域のレクリエーションや町内スポーツ団体に社会体育施設として開放 旧大沼分校：校舎の一部が大沼公民館として大沼区が利用 <ul style="list-style-type: none"> ・旧水本小の地下燃料タンク廃止業務 182,520 円 ・旧上郷小一般廃棄物処理業務委託 489,780 円
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	2,737,000	決算額	2,492,860	差引額	244,140
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

<ul style="list-style-type: none"> ○地域住民や町内の各種団体等が利用する際の安心と安全に配慮して、施設設備の保守点検等を実施した。結果、利用に支障が生じていない。 ○旧上郷小校舎の廃棄物を処分し使用可能な状態にできた。（平成30年度から一般使用者あり、公募等は総務課で実施）

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・旧小学校施設の有効活用の方向性または適正な処分方法について、関係課と連携していく。（平成30年度からは旧上郷小と旧水本小の管理を総務課で行う。）

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校管理費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	児童の安全確保と適切な学校運営のため適切な維持管理を行う。
-------	-------------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築後の経過年数により老朽化が進んでいる施設があるものの、法令等に基づく各種保守点検や日常点検を実施 ・ 光熱水費、通信運搬費について、月別状況を各校に配布し節電、節水等を指導 ・ リフト点検、ボイラー点検、プール保守点検実施

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	19,404,000	決算額	17,951,640	差引額	1,452,360
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

5. 事業の評価（成果と課題）

<ul style="list-style-type: none"> ○各種点検を実施し、適正な管理ができた。 ○光熱水費は、各学校に対して定期的に利用状況を報告し、節電、節水等を呼びかけた結果、前向きな取り組みにより経費削減に効果が出ている。
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、安全・安心で快適な施設となるよう管理を行う。 ・ 節電、節水等を引き続き呼びかけ、今後も周知徹底を図っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校管理費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	生徒の安全確保と適切な学校運営のため適切な維持管理を行う。
-------	-------------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・建築後の経過年数により老朽化が進んでいるものの法令等に基づく各種保守点検や日常点検を実施 ・光熱水費、通信運搬費について月別状況を配布し、節電・節水を指導 ・臨時職員（事務補助）を継続して1人配置

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	9,437,000	決算額	8,924,230	差引額	512,770
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

<ul style="list-style-type: none"> ○各種点検を実施し、適正な管理ができた。 ○光熱水費は、中学校に対して定期的に利用状況を報告し、節電、節水等を呼びかけた結果、前向きな取り組みにより経費削減に効果が出ている。
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、安全・安心で快適な施設となるよう管理を行う。 ・節電、節水等の呼び掛けを今後も継続して実施する。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校保健衛生費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	病疾患の早期発見や児童自身の健康維持に対する意識を高めることにより、児童が元気に学校生活を送れるようにする。
-------	--

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・学校医5人、薬剤師2人を委嘱し、各種健診(内科、歯科、耳鼻科、眼科)を実施 ・山形県成人病検査センターへ各種検査(ぎょう虫、尿、貧血、心電図)を委託 ・学校での集団健診を実施 欠席者に対しては町内の学校医は個別健診、寒河江市の学校医は教育委員会で引率し実施 ・児童の日常における健康管理や安全については、校医の指導の下、養護教諭及び各学校保健委員会を中心に啓発指導を実施 ・学校保健委員会の開催 西小6/20、宮小7/11、大谷小7/13
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	2,551,000	決算額	2,230,730	差引額	320,270
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価(成果と課題)

○集団健診未受検者に対して、教育委員会で引率したことにより早期に全員の健診が終了できた。
--

6. 事業の方向性

・未受検者については、早期に健診できるよう継続して対応を行う。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校保健衛生費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	病疾患の早期発見や生徒自身の健康維持に対する意識を高めることにより、生徒が元気に学校生活を送れるようにする。
-------	--

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・学校医4人、薬剤師2人を委嘱し、各種健診(内科、歯科、耳鼻科、眼科)を実施 ・山形県成人病検査センターへ各種検査(尿、貧血、心電図)を委託 ・学校での集団健診を実施 欠席者に対しては町内の学校医は個別健診、寒河江市の学校医は教育委員会で引率し実施 ・生徒の日常における健康管理や安全については、校医の指導の下、養護教諭及び学校保健委員会を中心に啓発指導を実施 ・学校保健委員会の開催 7/11

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	1,374,000	決算額	1,231,379	差引額	142,621
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価(成果と課題)

○集団健診未受検者に対して、教育委員会で引率したことにより早期に全員の健診が終了できた。
--

6. 事業の方向性

・未受検者については、早期に健診できるよう継続して対応を行う。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校遠距離通学費
-------	-----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	遠距離通学児童に年間を通した安全な通学を確保する。
-------	---------------------------

3. 事業の実施状況

<p>遠距離から通学している児童数 70人 (24.5%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス運行による通学 (三中線：臨時職員 和合線・上郷線：業者委託) 立木・太郎地区4人、三中地区10人 (松程冬期下校2人)、上郷地区13人、和合地区19人、沢内地区8人、大暮山3人(立木、上郷、和合、大暮山の登校は中学校スクールバスを利用) ・タクシー運行による通学 (業者委託) 立木方面 (下校)、和合平 (登校) 1人、沢内方面 (下校)、雪谷 (登下校) 2人 大暮山 (下校) 3人、赤釜 (登下校) 1人、沼ノ平 (下校、冬期間登校) 3人、中沢 (冬期下校) 5人 ・運行については、運転手と打合せや講習会を行い安全運行に努めている。 ・車両の老朽化に伴い安全運行維持の面から部品等の交換など修繕には万全を期している。

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	10,623,000	決算額	9,432,902	差引額	1,190,098
-----	------------	-----	-----------	-----	-----------

5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○家庭、学校、教育委員会の連携のもと計画どおりの運行ができた。</p> <p>○スクールバスの定期点検を適切に行い安全な運行ができた。</p> <p>○遠距離通学の対象児童が毎年変化しているため、運行体制の編成が複雑になっているが、状況を勘案した編成を行いスムーズな運行ができた。</p> <p>○平成29年6月から冬期間下校のみの利用地区を下校時の通年乗車に変更し、また、1人で人家皆無の道路を通学する場合は登下校乗車できるよう変更した。</p> <p>△近年の児童生徒数の減少に伴い、通学の防犯上の安全面への配慮等も踏まえ安全策を随時見直す必要がある。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・安全運行のため、スクールバスの定期点検や更新を適切に行う。 ・臨時職員の運転手に対して、県等が主催する研修への参加や、警察等による安全教育を行う。 ・災害発生時等において関係機関と情報を共有し、通行可能な路線の確認を行うとともに、学校・保護者・スクールバス運転手と連絡を密にして安全な通学を確保することを基本として実施していく。 ・地区別の児童生徒数や通学体制などを総合的に判断し、効率的な運行計画を立てる。 ・少子化、車社会、防犯上など子どもたちを取り巻く環境の変化に伴い、スクールバスの利用対象地区の拡大もやむを得ない状況となっているが、体力面や拡大に伴う地区間の不公平感も考慮し、運行方針及び利用基準を検討していく。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校スクールバス運行費
-------	--------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	遠距離通学生徒に年間を通した安全な通学を確保する。
-------	---------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・遠距離から通学している生徒 100人 (60.6%) ・スクールバス3台運行 松程線 臨時職員 (10人、冬期は能中・川通4人) 大沼線 臨時職員 (2人) (下校時のみ4人、冬期下校のみ11人/登校時は小学生と同乗) 立木線 臨時職員 (14人、冬期下校のみ6人) 上郷線 業者委託 (5人、冬期下校のみ1人) (小学生と同乗) 和合線 (5人) 業者委託 (小学生と同乗/下校は大沼線) ・スクールタクシー和合平線 (1人、下校は大沼線) ・山交バス (北部地区41人、大隅2人冬期間のみ) ・運行については、運転手と打合せや講習会を行い安全運行に努めている。 ・車両の老朽化に伴い安全運行維持の面から部品等の交換など修繕には万全を期している。
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	19,121,000	決算額	16,335,978	差引額	2,785,022
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○家庭、学校、教育委員会の連携のもと計画どおりの運行ができた。</p> <p>○スクールバスの定期点検を適切に行い安全な運行ができた。</p> <p>○遠距離通学の対象生徒が毎年変化しているため、運行体制の編成が複雑になっているが、状況を勘案した編成を行いスムーズな運行ができた。</p> <p>○部活動での大会や練習試合等でもスクールバスを利用しており、送迎に係る保護者の負担軽減ができた。</p> <p>△近年の児童生徒数の減少に伴い、通学の防犯上の安全面への配慮等も踏まえ安全策を随時見直す必要がある。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・安全運行のため、スクールバスの定期点検や更新を適切に行う。 ・臨時職員の運転手に対して、県等が主催する研修への参加や、警察等による安全教育を行う。 ・災害発生時等において関係機関と情報を共有し、通行可能な路線の確認を行うとともに、学校・保護者・スクールバス運転手と連絡を密にして安全な通学を確保することを基本として実施していく。 ・地区別の児童生徒数や通学体制などを総合的に判断し、効率的な運行計画を立てる。 ・少子化、車社会、防犯上など子どもたちを取り巻く環境の変化に伴い、スクールバスの利用対象地区の拡大もやむを得ない状況となっているが、体方面や拡大に伴う地区間の不公平感も考慮し、運行方針及び利用基準を検討していく。(平成30年11月から冬期間下校のみ乗車していた地区を冬期間の登下校乗車に変更する。)

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校整備事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	安全で安心して授業が受けられる施設の整備を行う。
-------	--------------------------

3. 事業の実施状況

<p>修繕関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各小：ろ過装置修繕 370,980 円 ・西小：グラウンド倉庫屋根修繕 221,400 円、昇降口屋根修繕 149,708 円、調理室シンク修繕 185,000 円 <p>工事関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西小：図書室エアコン設置工事 1,188,000 円、グリストラップ交換工事 1,119,960 円 受水槽高架水槽更新工事 6,782,400 円、複式学級教室改修工事 1,695,600 円 ・宮小：図書室エアコン設置工事 1,188,000 円、3年教室他床フローリング張替工事 993,600 円 ・大谷：複式学級教室改修工事 1,728,000 円 <p>委託料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西小：受水槽高架水槽更新工事設計 469,800 円、受水槽高架水槽更新工事監理 345,600 円 ・大谷：複式学級教室改修工事設計 291,600 円 ・各小：特定建築物定期報告業務 226,800 円 <p>備品購入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西小：角型二重食缶 147,096 円
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	21,325,000	決算額	19,415,212	差引額	1,909,788
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○学校と連携しながら不良箇所の修繕を行い、適切な施設管理ができた。</p> <p>△西五百川小学校校舎（S54）、宮宿小学校校舎（S55）は建築年が古く、老朽化が進み改修計画の策定が必要である。</p> <p>△暑さ対策として児童が利用可能なエアコンが設置されている教室は、図書室またはコンピュータ室のみとなっている。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き安全・安心で快適な施設となるよう整備を行っていく。 ・西五百川小学校校舎、宮宿小学校校舎の改修については、町の実施計画（3年間）に計上し、関係部局との連携を図りながら確実に実施できるよう取り組んでいく。（空調、油管、水道、排水管等） ・当面の方向性としては、経費の抑制を考慮し、新築ではなく改修による施設の長寿命化を図っていく。 ・各教室へのエアコン設置について検討していく。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校整備事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	安全で安心して授業が受けられる施設の整備を行う。
-------	--------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・修繕関係 正門側溝修繕 297,000 円 ・委託料 グラウンド簡易トイレ維持管理 154,440 円 学校施設劣化調査業務 4,698,000 円 特定建築物定期報告業務 75,600 円 暖房機清掃点検業務 344,520 円 ・工事関係 武道館床改修工事 9,568,800 円 ・備品購入 校務用パソコン・教育サーバ更新 3,240,000 円
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	20,177,000	決算額	19,753,926	差引額	423,074
-----	------------	-----	------------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○学校と連携しながら不良箇所の修繕を行い、適切な施設管理ができた。</p> <p>○武道館は水まわり、天井、屋根、床など修繕が必要な箇所を計画的に改修できた。</p> <p>△校舎、体育館は平成 22 年度に耐震工事が終了し、併せて内壁、外壁等主要な部分も大規模改修を行ったが、建築年が昭和 51 年と古く設備面を中心に老朽化が進み改修計画の策定が必要である。</p> <p>△屋外部活の部室が目の届かないところにあり、老朽化もしていることから改築する必要がある。</p> <p>△暑さ対策として生徒が利用可能なエアコンが設置されている教室は、コンピュータ室のみとなっている。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、安全・安心で快適な施設となるよう整備を行っていく。 ・平成 29 年に実施した劣化調査を基に老朽化している施設設備を計画的に改修していく。 ・社会開放用のトイレ設置と、屋外部室の改築については町の実施計画（3 年間）に計上し整備する。 なお、屋外部室の管理については、改修されるまでの間、教職員による定期的な見回り等を実施し安全を確保する。 ・各教室へのエアコン設置について検討していく。（平成 30 年 7 月に礼法室に設置）

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校教育振興費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	02	教育振興費

2. 事業の目的

事業の目的	教材の活用により分かりやすい授業が行われ、児童の学習意欲向上を図る。 情緒障がいや知的障がい児等、支援を要する児童に、きめ細かな学習支援を行う。
-------	---

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・小学校3、児童数285人【21クラス（内特別支援4クラス）】 ・学力向上・特色ある学校づくり事業の実施に対し、各校 280,000円を上限に補助。 （西小278,764円、宮小278,864円、大谷小279,804円） ・小体連陸上（5/16）、水泳記録会（7/4）【参加児童101人】 ・海の子山の子交流事業 大谷小学校⇄七ヶ浜町立亦楽小学校 ・各校の教材備品、一般備品の購入1,796,660円 ・芸術鑑賞事業補助250,000円 ・準要保護対象者16人、特別支援教育就学奨励該当者6人 ・学習生活指導員（西小1人・宮小3人・大谷小2人）、読書活動推進員（1人）、地域活動推進員（2人）を配置 ・宗生文庫基金による図書購入636,473円、年度末基金残高15,868,355円

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	18,925,000	決算額	17,762,364	差引額	1,162,636
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○学習生活指導員を西五百川小学校に1人、宮宿小学校に3人、大谷小学校に2人配置し、複式学級・特別支援学級も含めきめ細かな学習指導を行うことができた。</p> <p>○読書活動の推進を図るため、図書のデータ管理を全小学校でしており、朝日町子ども読書活動推進計画に沿った各種施策を着実に実施できた。</p> <p>○読書活動推進員を1人配置し、各小学校を巡回しながら学校図書館の環境整備や図書の紹介等による読書の推進、図書を活用した授業への支援を行い、図書館の利用及び図書の貸し出しが増えている。</p> <p>○地域活動推進員を配置し、学校と地域の連携状況について洗い出しを行い、コミュニティスクール導入に向けた準備ができた。</p> <p>△各種障がいを持つ子どもへの対応を行う際に、保護者の理解や協力を得ていく必要がある。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・少子化による複式学級の設置状況を踏まえ、引き続き学習生活指導員を配置し、きめ細かな学習指導を進めていく。 ・一人ひとりの実態に応じたきめ細かな学習指導を進めるため、特に低学年への対応を重視していく。 ・障がいを持つ児童の保護者に対し、子どもの将来を見据えた指導等の必要性について、保護者、学校、行政が情報を共有し、理解と協力を得られるべく努力していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校教育振興費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	02	教育振興費

2. 事業の目的

事業の目的	教材の活用により分かりやすい授業が行われ、生徒の学習意欲向上を図る。 情緒障がいや知的障がい児等、支援を要する生徒に、きめ細かな学習支援を行う。
-------	---

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・朝日中学校 生徒数 165 人【9 クラス(内特別支援 3 クラス)】 ・学力向上・特色ある学校づくり事業の実施に対し、上限額の 660,000 円を補助。 ・教材備品及び一般備品の購入 925,650 円 ・県大会、東北大会、全国大会派遣 1,493,000 円 ・部活動補助 600,000 円 ・準要保護対象者 8 人 ・特別支援学級奨励対象者 3 人 ・学習生活指導員 2 人、読書活動推進員 1 人を配置 ・スクールカウンセラー 2 人配置
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	10,541,000	決算額	9,682,597	差引額	858,403
-----	------------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○学校から要望のあった各種備品等を年度当初に購入し、授業での活用により、生徒の学習意欲の向上が図られた。</p> <p>○学習生活指導員を 2 人配置し、きめ細かな学習指導を行うことができた。</p> <p>○県大会、東北大会、全国大会への派遣補助により、生徒の意欲向上と保護者等の負担軽減を図ることができた。</p> <p>○読書活動推進員を 1 人配置し、学校図書館の環境整備や図書を紹介等による読書の推進、図書を活用した授業への支援を行い、図書館の利用及び図書の貸し出しが増えている。</p> <p>△不登校や保健室登校といわれる子どもたちを一人でも減らしていかなければならない。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き学習生活指導員の配置をしていく。 ・一人ひとりの状況に応じた学習指導が求められており、保護者の理解と協力を得ながら対応していく。 ・不登校等の子どもたちには県のスクールカウンセラー事業を活用して、一刻も早い学校生活への復帰を促していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	外国語活動推進事業費
-------	------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	02	教育振興費

2. 事業の目的

事業の目的	小学校における国際理解と英語力の向上を図る。 中学校における英語教育（コミュニケーション能力）を充実する。
-------	--

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度に小学校学習指導要領が、平成24年度に中学校指導要領がそれぞれ改訂され、理数系のほか語学が強化されることとなり、特に小学校5・6年は必修領域外国語活動となったことから、従来のJET利用のALTでは不安要素が大きく、町単独で現ALTを招致している。 現ALTはアメリカの伝統行事による異文化体験を企画実施し、国際交流の進展にも寄与しており、平成28年度から実施している中学生の海外派遣事業についても中心となり事業を行っている。 <p>【実施事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> アメリカンBBQ 7/8 (小学生12人参加) ハロウィン 10/22 (小学生45人参加)
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	5,748,000	決算額	5,554,624	差引額	193,376
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○ALTとして来日以来14年間の実績を活用し、学校と連携しながら適切な指導ができています。</p> <p>○子どもたちに人気があり日本の風土にもなじんでおり、小学生を対象とした国際交流事業も好評である。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続して、現ALTを雇用するとともに、英語の教科化に向けて新たな外国語指導助手の雇用を検討するなど外国語活動や英語教育の充実を図っていく。 国際交流事業を通して、小・中学生が外国への関心を高めており、今後とも国際交流事業を強化していく。 現ALTの契約期間が平成31年3月までとなっているので、今後の安定的な雇用のため契約内容などの検討を行う。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校給食費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	03	学校給食費

2. 事業の目的

事業の目的	バランスのとれた安全で安心な学校給食を提供し、健やかな子どもを育てる。
-------	-------------------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・経費は、光熱水費、調理師代行、検査委託費等 ・自校炊飯を全校で実施 年間180日～190日 給食の食材は保護者負担 1食280円 ・週4回米飯、1回パンまたは麺類 ・献立作成会議を年10回開催 ・町独自の調理師資質向上研修会2回開催(調理師全員参加) ・地産地消を目指し毎月19日をふるさと給食の日と定め地元の野菜や果物、農産加工品を提供 ・食物アレルギー対策として、個別に対応した給食を提供 (西小1人、宮小5人、大谷小2人) (除去・代替えによる対応)

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	6,532,000	決算額	5,795,298	差引額	736,702
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価(成果と課題)

<p>○1件の事故もなく、バランスのとれた給食を提供することができた。</p> <p>△集中改革プラン(H17～21)で、給食の民間委託の検討を行うことが示されたが、その後の行革実現プランには「給食民間委託」は明文化なし。ただし、町全体として「民間委託の推進」は掲げているので、十分な協議が必要である。</p> <p>△食物アレルギー対策を現在も実施しているが、アレルギーの多様化や人数の増加により、対応が複雑化している。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・民間委託の導入についても検討するが、当面は直営での給食を行っていく。 ・食物アレルギー対策として、これまでの就学時健診時におけるアンケート調査に加え、年度末に保護者からの申告による食物アレルギー調査を行い、その結果を給食に反映させる。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校給食費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	03	学校給食費

2. 事業の目的

事業の目的	バランスのとれた安全で安心な学校給食を提供し、健やかな子どもを育てる。
-------	-------------------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・(有)地球耕望に副食給食を委託 11,880,000 円 (複数年契約) ・給食の食材は保護者負担 食材 1 食 210 円 ・食物アレルギー対策としては、除去による個別に対応した給食を提供
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	11,905,000	決算額	11,901,761	差引額	3,239
-----	------------	-----	------------	-----	-------

5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○1 件の事故もなく、バランスのとれた副食給食を提供することができた。</p> <p>△食物アレルギー対策を現在も実施しているが、アレルギーの多様化や人数の増加により、対応が複雑化している。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食の提供にあたり、給食センター方式や自校給食又は業務委託があるが、当面は業務委託による副食給食方式を継続し、委託先の状況に応じて他の方式にも切り替えられるよう柔軟に対応していく。 ・食物アレルギー対策として、小学校からのデータを引き継ぐことを基本とし、年度末に保護者からの申告による食物アレルギー調査を行い、その結果を給食に反映させる。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	社会教育総務費
-------	---------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

2. 事業の目的

事業の目的	生涯学習の振興を図る。
-------	-------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員 7人 (男5人、女2人) ・社会教育委員会の開催 (第1回 5/29、第2回 3/28) ・社会教育委員会で協議した内容 <ul style="list-style-type: none"> (1) 朝日町社会教育の課題 <ul style="list-style-type: none"> ① 女性の社会参画の在り方 ② 子ども・若者の地域活動参画の在り方 ③ 社会教育関係団体の高齢化、担い手の偏り ④ 文化財の保護と活用 ⑤ 社会教育、社会体育施設の老朽化 (2) 課題に対応するための重点取り組み <ul style="list-style-type: none"> ① 人材育成事業の推進 ② 地域社会による子育て、社会教育の推進 ③ 芸術文化活動の育成支援 ④ 文化財保存整備及び歴史や文化財に関する啓発活動等 ⑤ スポーツを通じた人材育成 ・山形県社会教育研究大会 10/27 3人参加 (新庄市) ・社会教育機関負担金支出 (県社教連、県社教大会、山響) ・社会教育団体活動補助金支出 (子ども会連絡協議会 199,000円)

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	3,066,000	決算額	2,487,980	差引額	578,020
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○社会教育委員会の開催は計画に沿って開催することができた。</p> <p>△社会教育委員会は、事業計画及び実施状況の確認等、適正に助言しているが、時代の変化に合わせて社会教育に対する課題が変化してきており、対応が難しくなっている中、人口減少の中での社会教育の役割や目的などテーマを決めて意見交換を行うことができた。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員は、教育委員会に対する助言、意見を述べるなどの職務のために、先進的、優良事例の調査研究等を行い、社会教育委員会の活動の活発化を促し、当町社会教育に反映させる。 ・社会教育委員会の中で、テーマを決めた意見交換を行い、社会教育委員としての資質の向上に努める。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	文化財保護費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

2. 事業の目的

事業の目的	町の文化財を掘り起こし、地域の宝として、守り伝える態勢を整え活用を図る。
-------	--------------------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護委員 4人(5人以内) ・文化財保護委員会 (6/14、3/1) ・文化財保護委員視察研修 (10/17) 酒田市松山文化伝承館 (領内地区調査) ・指定文化財保護事業費補助金 <ul style="list-style-type: none"> 佐竹家住宅管理費補助 90,000円 水口十一面観音堂管理費補助 200,000円 大沼の浮島整備補助 (水源・水量調査、ワークショップ3回、保存整備委員会等国庫補助事業) 2,500,000円 枯損木伐採 842,000円 角田流獅子踊 (大谷・八ツ沼) 伝承補助 100,000円 ・旧三中分校施設管理委託 (八ツ沼区) 100,000円 ・佐竹家住宅駐車場整備 780,840円 ・文化財等保護調査 (ハッチョウトンボ)

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	4,472,000	決算額	4,147,467	差引額	324,533
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○町指定文化財については、所有者等と協議しながら保存整備を行うことができた。</p> <p>○大沼の浮島整備については、国庫補助事業を活用し整備、調査を進めている。その中で、地区の方々とのワークショップを開催し、整備計画策定委員会に向けて様々な視点からの意見交換の場となった。</p> <p>△大沼の浮島については、水源確保の為調査を行ったが、結果を得られなかった。引き続き水源確保、水量・水質低下、ナラ枯れ等への対策が必要である。</p> <p>△文化財マップの活用や準文化財を登録する「朝日町ふるさと文化財制度」を推進し、地域の宝を守り伝えていく心を醸成していく必要がある。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・大沼浮島保存整備委員会を設置し、水量の減少等の原因を究明するとともに、問題を解決するため、保存整備計画を策定し、国庫補助等により整備を促進する。 ・地域の宝を守り伝えていく心を醸成していくために、マップの活用や準文化財を登録する「朝日町ふるさと文化財制度」を今後も推進し、公民館連絡協議会や区長会等において、周知を図る。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	町史編さん費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

2. 事業の目的

事業の目的	町の歴史を正しく理解し、後世に伝える。
-------	---------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・町史編さん専門員2人を配置 ・町史関係資料収集 町史編纂資料第34号発行 ・町史及び町史資料頒布 ・文化財保護、民具の利活用等 創遊館フォーラムにて実施 ①「初夏の耕作・稲作・雨具展」6/13～7/10 ②「冬の生活と山仕事展」2/5～2/28 ・朝日町郷土史研究会 ・ふるさと歴史教室「古文書講座」～古文書から見るくらし～ 9/14～10/19 6回 (受講者16人) 「現地学習会」～獅子踊りと山伏神楽のふるさと探訪～ 1/25 宮城県丸森町 (参加者18人)
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	3,195,000	決算額	2,953,638	差引額	241,638
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○町史編さん専門員2人の配置により、町史関係資料の収集ができ、町史編纂資料34号を発行した。</p> <p>○古文書、歴史資料をまとめた町史や町史編集資料の頒布は、広く町民に伝えることにつながっている。</p> <p>△町内の民俗文化財に対する調査が遅れており、伝承できる人や貴重な資料が減少する前に調査する必要がある。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・継続して、古文書、歴史資料をまとめ町史編集資料の作成業務を行う。 ・エコミュージアム協会と連携し、民俗文化財の調査の体制を整備する。 ・古文書講座は、様々な対象を想定し開催時期や時間など工夫しながら実施していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	青少年健全育成推進事業費
-------	--------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

2. 事業の目的

事業の目的	家庭、学校、地域が一体となった町全体の共通目標を掲げ、町民全体による子育てを推進する。
-------	---

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成町民会議（委員 22 人） 総会 9/8 青少年育成町民大会 11/27 約 170 人（あさひ教育の日との連携事業） I 部 記念発表：『Asahi Homestay Program に参加して』 発表者：朝日町海外派遣生（朝日中第 3 学年 6 人） II 部 記念講演：『学校・家庭・地域が協働してのコミュニティ・スクールのあり方』 講師：習志野市秋津コミュニティ顧問 岸 裕司 氏 ・青少年育成推進員活動（委員 7 人） 会議、青少年事業への活動補助 ・青少年指導センター（委員 20 人） 街頭指導、研修会、会議
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	448,000	決算額	234,290	差引額	213,710
-----	---------	-----	---------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○青少年の健全育成を推進する団体が協力し合い、青少年育成町民大会を開催し、町民に青少年の健全育成についての共通目標を周知し、現在の子どもの抱える問題や解決策についての役割等について確認できた。</p> <p>△街頭指導では、特に目立った事項は見当たらなかったが、単純な目に見える非行への対応から、いじめの対応や「生きる力」を育む対応へ変わってきており、地域全体で見守っていく必要がある。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・問題、課題の変化に対応するため「青少年育成町民会議」の在り方や「青少年育成町民大会」の開催内容について見直し、その内容で実施する。 ・あさひ教育の日推進事業など学社連携により、問題へ対応していく。 ・街頭指導について、青少年指導センターが見守っていることの啓発活動として、登下校時の学校訪問等を継続して行っていく。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	自治公民館整備事業費
-------	------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	02	中央公民館費

2. 事業の目的

事業の目的	生涯学習の振興を図る拠点施設である自治公民館の整備に助成する。
-------	---------------------------------

3. 事業の実施状況

・改修工事補助金	①西原公民館	事業費	351,544 円	補助金	174,000 円 (50%以内)
	②新宿公民館	事業費	992,790 円	補助金	397,000 円 (40%以内)
	③宿公民館	事業費	164,960 円	補助金	65,000 円 (40%以内)
	④下芦沢公民館	事業費	368,550 円	補助金	184,000 円 (50%以内)
	⑤双葉公民館	事業費	1,400,000 円	補助金	840,000 円 (60%以内)
	⑥長沼公民館	事業費	716,979 円	補助金	358,000 円 (50%以内)
	⑦能中公民館	事業費	432,000 円	補助金	216,000 円 (50%以内)
	⑧大谷一公民館	事業費	166,660 円	補助金	66,000 円 (40%以内)
	⑨大暮山公民館	事業費	152,500 円	補助金	61,000 円 (40%以内)

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	3,000,000	決算額	2,361,000	差引額	639,000
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

○自治公民館整備事業補助金交付規程の見直しを行い（平成29年4月1日改正）、各公民館の整備に関する相談に応じて支援することができた。

△昭和に建築された自治公民館が多く老朽化に伴い改修や改築等が必要な公民館が多くなってきていると共に、各集落とも高齢化率が高くなってきており、安全で安心して利用できる公民館が望まれている。

6. 事業の方向性

- ・「高齢者・障がい者にやさしい避難所の環境整備事業」と連携し推進する。
- ・各地区からの要望をできるだけ早い段階で受け止め、協議や具体的な支援の確保に向けて早めに動きだせる体制をつくる
- ・自治公民館建築事業補助金交付規程に基づき計画的に支援を行ないつつ、問題や課題を把握する。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	中央公民館事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育総務費
	目	02	中央公民館費

2. 事業の目的

事業の目的	町民の教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。
-------	--------------------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・中央兼中部公民館運営審議会 (2回) ・家庭教育 <ul style="list-style-type: none"> 中央公民館事業…やまがた子育て講座 (6/10 宮小 70人、7/19 西小 46人、7/20 大谷小 70人、7/25 朝日中 250人) あさひ家庭教育学級 (あさひ保育園 3回 親子延べ388組) ・青少年教育 <ul style="list-style-type: none"> 中央公民館事業…成人式: 4/29 参加者 70人 (対象 77人) ボランティア育成 (中学生…きらり、高校生…JOKER: ふれあい育児体験、ふれあい荘夏祭等) 中部公民館事業…子ども会育成事業 (第25回綱引き大会 3/21 257人) ・女性教育 <ul style="list-style-type: none"> 中央公民館事業…女性文化教室 11教室 9回 参加者 169人、女性まつり 12/2~3 約150人 ・成人教育 <ul style="list-style-type: none"> 中央公民館事業…朝日町ふるさと歴史教室「古文書講座」9/14~10/19 (6回) 受講者 16人 「現地学習会」1/25 (宮城県丸森町) 参加者 18人 朝日町子ども会育成会研修会 3/3 「あさひっこの生活習慣を考えよう」約80人 第30回生涯学習推進大会 2/25 「朝日町今昔タカラモノガタリ」約350人 ・自治公民館 <ul style="list-style-type: none"> 中央公民館事業…町自治公民館長・主事研修 (飯豊町中津川地区) 10/26 参加者 34人 公民館報発行奨励金交付事業 20館、自治公民館研修会等共催支援事業 5館 中部公民館事業…自治公民館長・主事研修 (松本亭一農舎) 11/6 32人 ・高齢者教育 <ul style="list-style-type: none"> 中央公民館事業…高齢者大学代表者会議 2/28 中部公民館事業…寿大学 (講話等 3回、社会見学 1回 延べ333人)

4. 予算額・決算額

(単位: 円)

予算額	1,954,000	決算額	1,658,266	差引額	295,734
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○町民ニーズに合った事業展開を行うことができた。</p> <p>△固定された参加者が多くなり、新たな参加者を増やしていく必要がある。</p> <p>△今後も公民館職員だけでなく、住民参画の企画・運営を進めていく必要がある。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・更なる町民ニーズの把握に努め反映を図りつつ、スクラップ&ビルドにより事業の見直しを検討していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課西部公民館

事務事業名	西部公民館事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	03	西部公民館

2. 事業の目的

事業の目的	町民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。
-------	---

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・公民館運営審議会及び健康増進センター管理運営審議会 (6/12、3/26) ・家庭教育 …あさひ家庭教育学級 中央公民館で一括実施 ・青少年教育…いもがわ少年教室 4回 27人、子ども会交流事業 2回 113人、青年教室2回 39人、 楽笑楽生こうざ (女性) 2回 19人 ・成人教育 …「陶芸教室」 2回 19人、筆ペン講座 2回 34人、 チャリティーグラウンドゴルフ大会 10/21 参加者 76人、自治公民館長主事研修会 6/25 37人、 第24回西部地区スポーツフェスティバル 8/20 602人 (ソフトボール、グラウンドゴルフ、インディアカ、ビーチバレーボール、輪投げ) ・高齢者教育…高砂大学 4回 22人 延べ82人 ・第53回町芸術文化祭展示発表会 11/3～5 約270人 (来場者) ・「西部公民館だより」発行 5回 (5/1、7/14、9/1、10/1、1/1) ・西部区長会や子ども会育成協議会など7団体の事務局担当
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	507,000	決算額	362,678	差引額	144,322
-----	---------	-----	---------	-----	---------

5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○女性対象の楽笑楽生こうざは、長年継続して実施している事業で、参加者から好評を得ている。また、子ども会交流事業と併せて宿泊体験を実施しており、普段できない体験ができると、参加者や保護者、西五百川小学校から好評を得ている。</p> <p>○事業の周知方法等の見直しで、新たに組回覧を実施した結果、西部地区内からの新規参加者が若干だが増えた。</p> <p>△青年教室 (フットサル交流会) や高齢者教室 (高砂大学) は参加者から好評を得ているが、新規参加者の確保が難しく、参加者が減少している。</p> <p>△町民ニーズに応える事業を実施しようとするが、町民の関心が多岐にわたり、応えることが難しい。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の周知方法・回数等を見直し、新規参加者を増やす。 ・町民ニーズの把握に努め、事業内容や開催方法の見直しを行う。 ・地区最大のイベント、スポーツフェスティバルは、地区民の交流を促進する機会となっており、継続開催していく。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課北部公民館

事務事業名	北部公民館事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	04	北部公民館

2. 事業の目的

事業の目的	町民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。
-------	---

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・公民館運営審議会 (5/25, 3/14) ・家庭教育 …あさひ家庭教育学級 中央公民館で一括実施 ・青少年教育…ドキドキ探検隊 隊員24人 達人倶楽部20人 延べ隊員122人 述べ達人倶楽部71人 参加(流しそうめん、カヌー、登山、そば打ち、夏・冬キャンプ等9回) …子ども会育成会事業 「交通安全教室」21人 「蜜ろうでリップ & ハンドクリーム作り教室」21人 ・高齢者教育…睦大学 4回 101人 延べ319人 ・成人教育 …自治公民館連絡協議会 館長主事等研修会 1回 28人 …第13回北部地区レクリエーション大会 9/10 (グラウンドゴルフ、ソフトボール、ビーチボールバレー、輪投げ) 500人 …そば打ち教室 2回 11人 述べ15人 …いきいき元気すっきり体操教室 3回 25人 述べ61人 ・女性教室 …蜜ろうでハンドクリームをつくってみよう 1回 15人 ・第53回朝日町芸術文化祭 秋葉山交遊館展示発表、移動芸能発表会 400人(来場者含む) ・その他、共催事業等 …ひまわりサロン (高齢者等の交流居場所づくり) 活動支援、 …交遊たのしい子ども教室 (生け花体験等) 共催 ・「北部公民館だより」発行 4回 (4/14、8/1、9/15、3/16) ・北部区長会や子ども会育成協議会など5団体の関係団体事務局担当

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	417,000	決算額	261,741	差引額	155,259
-----	---------	-----	---------	-----	---------

5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○青少年事業の「ドキドキ探検隊」は、野外活動を多く取り入れ、日頃できない体験が出来て参加者や保護者、大谷小より好評を得ている。また、地域の大人達で組織する「ドキドキ探検隊達人倶楽部」が企画、運営を担っており、世代間交流や地域の子どもの地域で育てる取組として、県社会教育研究大会等で事例発表し、高評価をいただいた。</p> <p>○2年目を向えた「いきいき元気すっきり体操教室」は冬季開催であったが、参加者より通年で学びたいと好評であった。</p> <p>○高齢者の事業として、「睦大学」を行っており、向学心や探究心も衰えず、会員同士の交流にもつながっている。</p> <p>△睦大学について65歳以上を対象としているが、その中の若い年代の方の参加割合が少なく課題である。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の内容を見直しながら、更に青年層の事業、世代間交流事業を充実し、事業参加者数の増加と、各年代の学びの機会提供、地域の活性化につなげていく。 ・北部地区レクリエーション大会は、各自治公民館と他の地区との交流の場となっており、継続していく。 ・成年層の事業を各種行いながら、60代の学びと社会参加の場を確保にもつなげていく。 ・参加者より好評であった「いきいき元気すっきり体操教室」は、今後も継続していく。(平成30年度より、ふれあいスポーツクラブの1教室として北部公民館を会場に通年開催)

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	創遊館管理費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	07	創遊館費

2. 事業の目的

事業の目的	町民が安全で利用しやすい施設の環境整備を図る。
-------	-------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・管理、各種設備、機器等の委託 夜間休日管理（シルバー人材センター）2,370,005円、清掃業務（株式会社山形ビルサービス）3,052,998円、エレベーター点検（アクア株式会社）61,560円、空調設備（弘栄設備工業株式会社）1,620,000円、ピアノ保守管理（櫻井育美）96,000円、ホール管理（ADAPT 今井信一）1,344,000円、自動ドア（アクア株式会社）83,808円、舞台装置（カヤバシステムマシナリー株式会社）486,000円、特殊建築物定期報告（株式会社山形ビルサービス）45,360円、環境衛生・貯水槽清掃（株式会社山形ビルサービス）598,320円 ・修繕 通信モジュール交換修繕1,209,600円、KHP エアコン10-2 系統室外機修理579,960円、自動監視システム修繕3,110,400円 ほか ・劣化診断業務委託9,633,600円 (内訳) 建物1,188,000円、設備4,201,200円、電気3,067,200円、管理1,177,200円 ・芝生広場の管理ほか ・創遊館の貸出 H29年度 利用団体1,530件 利用人数23,813人 (H28年度 利用団体1,611件、利用人数27,646人)

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	37,047,000	決算額	36,067,232	差引額	979,768
-----	------------	-----	------------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○創遊館の建設から17年を経過し、各機器等の不具合が出てきているため、緊急性の高いものから改修している。</p> <p>△電子機器の経年劣化による不具合が生じ始めており、計画的な交換が必要となっている。</p> <p>△年数の経過と共に供給を受けられない部品や機械が出始めている。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度に実施した創遊館の劣化診断の結果をもとに補修・修繕の優先順位付けを行い、中長期修繕計画を策定するとともに、計画的な施設修繕を行っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課西部公民館

事務事業名	西部公民館管理費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	03	西部公民館

2. 事業の目的

事業の目的	町民が安全で利用しやすい施設の環境整備を図る。
-------	-------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> 西部公民館（平成4年2月完成）、健康増進センター（昭和60年8月完成）、西部地区総合運動場（グラウンド：昭和62年3月完成）、熊ノ山農村公園（見晴らしの丘：平成15年3月完成）、西部地区コミュニティ広場（旧公民館跡地：平成7年11月完成）の5施設の管理 屋内施設：随時の清掃、維持 屋外施設：芝刈りや除草等維持管理。雪囲いや芝刈り、草刈りなどを、シルバー人材センターに委託している。熊ノ山農村公園の芝生は、グラウンドゴルフを楽しむ地元愛好会の皆さんから草取り作業など奉仕活動いただいている。また、コースの設定管理についても協力して頂いている。 年間利用者：H29年度 西部公民館 2,375人、健康増進センター 3,571人、西部地区総合運動場 1,731人、熊ノ山農村公園 5,642人、計 13,319人 (H28年度 西部公民館 2,637人、健康増進センター 3,612人、西部地区総合運動場 1,977人、熊ノ山農村公園 6,129人、計 14,355人) 健康増進センター健康増進室屋根修繕工事 5,553,360円 西部公民館AED更新 259,200円

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	8,499,000	決算額	8,338,613	差引額	160,387
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○地区民や関係団体の自発的な奉仕活動による維持管理の協力を頂きながら、適切な管理業務を行った。</p> <p>△施設の老朽化とともに、不具合が生じている。また、予定外の修繕も発生するため、対応に苦慮している。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化に伴い、緊急性のあるものから計画的に修繕を行い、施設の長寿命化を図る。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課北部公民館

事務事業名	北部公民館管理費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	04	北部公民館

2. 事業の目的

事業の目的	町民が安全で利用しやすい施設の環境整備を図る。
-------	-------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・秋葉山交遊館・芝生広場（平成7年7月完成）、北部体育館（昭和54年3月完成）、大谷地区運動広場（昭和62年完成） ・屋内施設：随時の清掃、維持 ・屋外施設：芝刈りや除草、樹木剪定、枝打等維持管理。一部、シルバー人材センター等に委託（300,265円）。 ・利用者数：H29年度 交遊館5,969人、体験館122人、多目的広場3,065人、北部体育館1,480人、秋葉山グラウンド943人、合計11,579人 (H28年度 交遊館6,046人、体験館203人、多目的広場1,804人、北部体育館1,481人、秋葉山グラウンド1,417人、合計10,951人) ・北部体育館外壁等改修工事 設計委託464,400円 工事監理委託233,280円 改修工事7,938,000円 ・秋葉山交遊館和室エアコン交換修繕 466,020円 ・秋葉山交遊館遊具点検業務 135,000円 ・秋葉山交遊館AED更新 259,200円

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	13,734,000	決算額	13,292,831	差引額	441,169
-----	------------	-----	------------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○施設の維持管理の協力として、地区民から自発的に奉仕作業をいただいている。</p> <p>○木製遊具やテニスコート、屋外バスケットコートなど、幼児、子供達が利用している。</p> <p>○多目的広場では、地区民のグラウンド・ゴルフ利用が多く、各区大会や日常の練習等で利用されている。</p> <p>△施設完成から20年を超え、老朽化が進んでおり、修繕の必要な箇所が増えてきている。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化や修繕必要箇所について、緊急性の高いものから修繕して、安全で安心して利用しやすい施設を維持できるよう今後も務める。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	放課後子どもプラン事業費
-------	--------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育総務費
	目	02	中央公民館費

2. 事業の目的

事業の目的	放課後の子ども達の安心安全な居場所づくりを行う。
-------	--------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室推進事業の実施 コーディネーター1人配置 きらきらスクール（宮小） 114日、延べ1,903人 放課後サポーター 23人 のびのびスクール（西小） 123日、延べ5,537人 放課後サポーター 14人 どきどきスクール（大谷小） 133日、延べ1,589人 放課後サポーター 26人
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	2,320,000	決算額	1,765,140	差引額	554,860
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○町内の3つの小学校で年間を通して開設。サポーターの方による放課後の安全な居場所づくりが図られ、学校との連絡調整を密にしたスムーズな運営体制、子どもの安全な見守り体制づくりができた。</p> <p>△コーディネーターによるサポーターの調整や業務や負担が増える傾向にある。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターを中心に、新たなサポーターの確保と共に、サポーター同士のつながりを強める。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	協働のまちづくり推進プロジェクト費
-------	-------------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育総務費
	目	02	中央公民館費

2. 事業の目的

事業の目的	自主的に活動する人材・団体を育成し、行政とともに地域づくり、まちづくりを推進し町民生活に寄与する。
-------	---

3. 事業の実施状況

<p>New アクション事業」の実施 応募団体 4 団体</p> <p>【チャレンジ創生資金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・霹靂祭 代表 小林純恵氏 (7 人) 3 年目 補助金 400,000 円 音楽フェスティバル開催に伴い地域の賑わいの創出 ・星の会 代表 成原千枝氏 (10 人) 3 年目 補助金 400,000 円 古民家で民話による地域おこしを行ない、交流人口の拡大につなげる <p>【アクション継続資金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝日町ボランティアの会 代表 鈴木貞夫氏 (65 人) 3 年目 補助金 400,000 円 東日本大震災被災地復興支援 (宮城県七ヶ浜町)、福島県被災者親子の心のケア支援、町内小学校通学路の除排雪ボランティア、高齢者施設の草刈り等 ・朝日町有志会 代表 今井一彦氏 (28 人) 1 年目 補助金 400,000 円 不要になったりんごの木を薪やチップにし再利用する <p>「高校生のための日本の次世代リーダー養成塾」への募集 参加者なし 「中学生海外派遣研修事業」7/27～8/3 (8 日間) 朝日中3 学年6 人 アメリカコロラド州ウィンザー市 アイジー基金を活用した事業 事業総額 3,601,000 円</p>
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	5,274,000	決算額	5,273,000	差引額	1,000
-----	-----------	-----	-----------	-----	-------

5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○どのグループも町や地域の活性化や課題を考え、様々な視点からの学習、活動を行い、町づくりに寄与する事業となった。</p> <p>○中学生海外派遣研修事業を実施。3年目に向け内容の充実を図る必要がある。</p> <p>△本事業は、3年まで継続事業についての支援としており、3年間支援を受けたグループが自立した活動へつながるような支援を検討し、条件を付加しさらなる継続を可能とした。今後も支援団体の状況を見ながら、単なる事業補助ではなく人材育成という本来の目的を重視する「New アクション事業」として実施していく必要がある。</p> <p>△「高校生のための日本の次世代リーダー養成塾」は、周知したが参加希望者なし。毎年の参加希望は難しい状況であり、改善していく必要がある。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の周知を図るため周知方法を工夫し、呼びかけや効果的なPRを行う。 ・海外派遣研修事業は、ウィンザー市との連携の強化を図る。 ・今後も若い世代の人材育成を図るため、「高校生のための日本の次世代リーダー養成塾」だけでなく、高校生を対象とした事業に派遣するとともに、結果を広く中学生や高校生に伝えられる場づくりを検討する。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	図書館費
-------	------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	05	図書館費

2. 事業の目的

事業の目的	町民が学習や生活に役立つ情報や知識を得ることができ、楽しい生活の場とするため図書館運営を行なう。
-------	--

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・町立図書館管理運営 臨時職員4人配置 ・利用登録者 5,110人、うち町外331人 ・1日平均貸出約50冊、1日平均利用者数約16人 ・図書資料収集…(蔵書数42,172冊/H29末) ・蔵書点検 11/13～20 ・移動図書事業 5月～2月 大谷小(18回 月1回) ・団体貸出 2団体 りんごっこクラブ(年10回)、あさひ保育園(年10回) ・ブックスタート事業(年6回) 絵本のプレゼント、絵本の読み聞かせ ・おはなし会事業 5月～3月(毎月第2土曜)9回 おはなし会「ぶなの実」と共催 ・10/15 夜の図書館～光と音と語りのシンフォニー～ 35人 ・12/9 クリスマス子どものつどい 88人、12/3 古本プレゼント305冊 ・ブックテーマコーナー開設(毎月) 月毎に本の紹介 ・子育て支援コーナー開設
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	6,879,000	決算額	6,575,301	差引額	303,699
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価(成果と課題)

<p>○図書館の利用者数を増やしていくため、毎月ブックテーマの設定、おはなし会等を実施することができた。</p> <p>○幼児期から本に親しんでもらうため、ブックスタートでの絵本贈呈等の活動を実施することができた。</p> <p>○移動図書事業により、子どもの図書に親しむ機会の充実に寄与した。</p> <p>△図書館利用の促進については、選本等の吟味・工夫が必要である。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の利用促進のため、新刊の選本の吟味と夏休み等の子ども達の図書館利用に工夫を凝らしていく。 ・上部組織と連携した職員の研修会に参加し、資質の向上を図る。 ・学校の図書室や読書活動推進員との情報交換等連携を図り、移動図書事業等をより充実していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	文化振興費
-------	-------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	06	文化振興費

2. 事業の目的

事業の目的	地域を活かした朝日町らしい芸術文化活動を高める。
-------	--------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・第53回芸術文化祭 町芸術文化協議会支援 (31 団体、2 個人) 11/3～5 第53回芸術文化祭 11/3 移動芸能発表 (秋葉山交遊館) ・「美の探訪」11/23 酒田方面 23 人 ・創遊館展示 (ギャラリー) 教科書展示 (6/5～15)、写真展 (8/30～10/4)、八十八歳「二人展」(10/5～26)、芸文祭展示 (11/1～15) 女性まつり作品展示 (12/2～20) ・ホール事業「朝倉さやコンサート」(5/27)、出張ホール事業 (7/17)
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	2,717,000	決算額	2,586,747	差引額	130,253
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>△構成メンバーの高齢化や減少に伴い、芸術文化祭の展示品や準備者の確保が年々難しくなっている</p> <p>△ギャラリーの活用がなかなか進まないが、今ある体制では難しい実情がある。</p> <p>△ホール事業の運営については、単年度での運営が難しいため「チケット販売、アーティストの依頼時期、ニーズ把握」等を町民参画で検討する必要がある。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化協議会をはじめ関係者との検討を深め、新たな体制や運営を考える

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	保健体育総務費
-------	---------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	保健体育費
	目	01	保健体育総務費

2. 事業の目的

事業の目的	町民が生涯スポーツ活動に取り組める。
-------	--------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員の設置（委員9人） ・町民登山、町民グラウンドゴルフ大会など町体育協会主催の各種大会への支援 （体育協会加盟団体 15 団体 会員数 564 人） ・第34回アップル町民駅伝競走大会の開催 10 チーム参加、宮宿Aチームが優勝 ・県縦断駅伝ほか蔵王坊平Jr 駅伝競走大会・クロスカントリー大会、西村山地区駅伝競走大会への支援、 モンテディオ応援バス借上げ補助 37,000 円 ・ミズノ連携事業 朝日町総合型スポーツクラブ（Jr マラソンクラブ）等への講師派遣 ・朝日町スポーツ少年団への支援（10 団体 団員数 131 人） ・各種スポーツ大会開催等の情報提供
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	3,318,000	決算額	2,916,600	差引額	401,400
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○町民が生涯スポーツ活動に取り組める環境を整えるため、スポーツ推進委員を配置し体協主催の各種大会、スポ少活動、総合型地域スポーツクラブなどの運営支援を行い、町民一人1スポーツ、生涯スポーツの町づくりに取り組むことができた。</p> <p>△町民の多様なニーズに対応したスポーツに触れられる機会や施設等の環境が整わない。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・従来の生涯スポーツの推進に加え、「健康づくり」をテーマとした親しみやすい事業を検討する。 ・町民が気軽にスポーツに取り組めるよう、既存施設を活用しながら用具等の整備を中心に進め、必要な施設や環境の整備を行なう。 ・「ミズノとの連携事業」は町全体で推進しており、各部署で連携内容を検討し様々な事業を展開している。教育委員会においても、総合型スポーツクラブの Jr. マラソンクラブへのコーチ派遣（月1回）や、家庭教育学級の「親子スポーツ教室」への講師派遣等を行っており、今後も多様な事業を展開できるよう連携を強化し検討していく。
--

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	体育施設管理費
-------	---------

予算 科目	款	10	教育費
	項	05	保健体育費
	目	02	体育施設費

2. 事業の目的

事業の目的	町民が利用しやすい施設運営をする。
-------	-------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・町民体育館の管理委託（朝日町シルバー人材センター）1,989,075 円 一般利用人数： 9,796 人（H28 9,862 人）、他中体連、新人戦強化練習にて使用 ・緑が丘公園町民プール（東京美装興業株）3,799,008 円 利用数 1,815 人 中学生以下1,571 人、高校生以上244 人（H28 2,753 人） ・夜間照明等（管理業務委嘱） 中学校及び朝日町野球連盟、Jr マラソンクラブにて使用 ・町民体育館「遮光カーテン」更新工事 1,728,000 円（経年劣化による更新工事）
--

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	13,376,000	決算額	12,891,241	差引額	484,759
-----	------------	-----	------------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○各体育施設の利用者の増減</p> <p>町民体育館 平成28年度から月曜日も開館したことで、利用者が以前より約2,000人増えている。</p> <p>町民プール 天候不順が続いたことや、最盛期に台風の影響により休館せざるを得ない日があったことで、利用者が大幅に減少した。</p> <p>夜間照明 野球チーム、スポーツ少年団、Jr マラソンクラブ等で例年同様に利用しているが、施設が老朽化しており改修を検討する必要がある。</p> <p>○常に安全な施設管理を行うように努め、町民のスポーツ活動支援に寄与することができた。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・施設及び備品の現状把握に努め、実施計画に基づき計画的に管理、整備をしていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	スポーツ振興基金運営費
-------	-------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	05	保健体育費
	目	03	スポーツ振興基金運営費

2. 事業の目的

事業の目的	町民の自主的なスポーツ活動を支援する。
-------	---------------------

3. 事業の実施状況

○基金の運用状況
28年度末現在高 15,563千円
29年度取崩し額 563千円
29年度末現在高 15,000千円
・全国大会に出場する競技成績優秀者への激励金の交付 個人11件、団体2件(延べ19件・うち海外2件) 425,000円
・アップル町民駅伝競走大会出場チームへの支援 250,000円
・町体育協会への各種スポーツ大会の運営委託 930,000円
・総合型地域スポーツクラブ(朝日ふれあいスポーツクラブ)運営支援(5教室・会員数70人) 補助金1,300,000円
・スポーツ少年団の育成 補助金250,000円

4. 予算額・決算額

(単位:円)

予算額	3,168,000	決算額	3,161,318	差引額	6,682
-----	-----------	-----	-----------	-----	-------

5. 事業の評価(成果と課題)

○各種スポーツ団体と大会の運営に対する支援を行い、町民のスポーツ振興に努めることができた。
○朝日ふれあいスポーツクラブの自立に向けた育成と支援について、クラブ側と調整を図ることができた。
△基金を取り崩して運用している状況から年々原資が減少しているものの、増資等を含め抜本的な対応策を見いだすことが難しい状況にある。

6. 事業の方向性

・各種スポーツ団体への支援と各種大会運営に対する支援、全国大会に出場する競技成績優秀者への激励金等を継続していく。
・今後のスポーツ振興基金については、取り崩しせずに利子を積み立てていくこととしている。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課北部公民館

事務事業名	秋葉山利活用計画作成費
-------	-------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	04	北部公民館

2. 事業の目的

事業の目的	町民が安全で利用しやすい施設の環境整備を図る。
-------	-------------------------

3. 事業の実施状況

<p>・昨年度につづき、秋葉山活用研究会（地区民等 15 人 町職員 6 人）の開催を予定したが、諸事情により開催できなかった。</p> <p>※経緯等 秋葉山は地域の里山として、地域住民の憩いの場、大谷小学校の自然学習等に利用されている町有地である。昭和 62 年に秋葉山グラウンドが完成し、平成 8 から 9 年にかけて、展望広場や階段、門、四阿、案内看板等が整備された。</p> <p>近年、施設の老朽化や手入れが行き届かない点があることから、地区民や大谷小学校から改善の要望の声があり、地区民の声を反映させた整備や管理の方向性を検討することとなった。</p> <p>※参考実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最上川さくら回廊 周辺整備作業（総合産業課主管）6/11(日) 植樹者、大谷連合区等 約 40 人 ・地区民による草刈りや間伐、倒木処理、散策道整備等奉仕作業 7/2(日) 峯友会、大谷連合区等 約 70 人 ・秋葉山さくら植栽作業（総合産業課主管 県みどり推進機構の補助金活用）11/12(日) ソメイヨシノ 14 本植樹 北部地区全区より約 30 人

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	30,000	決算額	5,000	差引額	25,000
-----	--------	-----	-------	-----	--------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○検討途中であったが、活用研究会で提案された中から間伐、伐採、さくら植樹、及び地区民による草刈り等整備奉仕作業が実施された。</p> <p>△当初予定では、数回の会議等を行い、整備及び活用の方向性や優先順位等を検討する予定であったが、開催できず、まとめるには至らなかった。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・地区民の声を反映させた整備や管理の方向性を見出せるよう、随時、研究会を開催する。 ・地区民及び関係課と連携しながら、優先順位の高いところから整備や管理をすすめる。 (平成 30 年度、間伐等樹木手入れ、散策道整備、さくら周辺整備、四阿・柵等修繕を予定（農林振興課予算）)

平成 30 年度 朝日町教育委員会「事務事業点検・評価報告書（平成 29 年度分）」
平成 30 年 8 月

〒990-1442

山形県西村山郡朝日町大字宮宿 2265 番地

朝日町エコミュージアムコアセンター「創遊館」内

朝日町教育委員会 教育文化課

電話 0237-67-2118 Fax 0237-67-3375
